



# 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ユニカフェ  
コード番号 2597 URL <http://www.unicafe.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩田 斉  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 長縄 明彦

TEL 03-5400-5444

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	7,835	△12.0	531	△18.9	541	△24.1	543	△1.6
26年3月期第3四半期	8,906	△28.9	655	115.8	713	188.2	551	122.5

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 532百万円 (△19.4%) 26年3月期第3四半期 660百万円 (135.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	39.23	—
26年3月期第3四半期	39.85	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	11,017	7,484	67.9
26年3月期	10,177	7,062	69.4

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 7,484百万円 26年3月期 7,062百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,772	△8.2	501	△32.4	517	△35.7	501	△27.0	36.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	13,869,200 株	26年3月期	13,869,200 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	27,600 株	26年3月期	26,920 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	13,841,894 株	26年3月期3Q	13,842,884 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年12月31日までの9ヶ月間)における当社グループを取り巻く環境は、消費税増税前の駆け込み需要の反動減が見られるものの、政府の経済対策による緩やかな景気回復の動きが見られております。しかしながら、天候不順による個人消費の落ち込みや、日銀の追加金融緩和を受けた大幅な円安進行による原材料価格の上昇など、国内景気の下揺れが懸念されております。

このような状況の中、レギュラーコーヒー業界につきましては、コンビニエンスストアでのカウンターコーヒーの隆盛や、コーヒー豆の産地や生産方法、淹れ方にこだわった「サードウェーブ・コーヒー」など、新たなコーヒーブームと機能性を重視した商品展開等によりコーヒーの飲用の裾野が大きく広がっております。一方で、一部にデフレ脱却といった好転の兆しがあるものの、コーヒー生豆相場の高騰と円安によるレギュラーコーヒーの販売価格改定が相次ぐなど、依然として同業各社が激しい競争環境の下で消耗戦を繰り広げている状況が長期間にわたって続いております。消費者の消費志向も、景気の先行きに対する不透明感から、節約型・低価格志向型が定着しております。

なお、当社の業績に多大な影響を及ぼすコーヒー生豆相場につきましては、生産国における天候不順等の影響を受け、前年と比べ高い水準で推移しており、なお先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは、「コーヒーをコアに人と環境にやさしい企業を目指す」の企業理念の下、「T=Transformation=変革」「I=Innovation=革新」「C=Challenge=挑戦」の「TIC」を新たなキーワードとして収益構造の改善と内部統制の強化に注力し、「その上のコーヒー」を常に追い続け、チャレンジを続けております。

セグメントの状況は、次のとおりであります。

## ① 「コーヒー関連事業」

「コーヒー関連事業」につきましては、国内において主力の工業用コーヒーの取扱数量の増加によるシェアの拡大に注力しました。業務用コーヒー・家庭用コーヒーの分野におきましては、OEM製品、NB・PB製品の販売に注力し、取扱数量増加に向けて、新規取引先の開拓と既存取引先に対する新製品提案を推進しました。

工業用コーヒーにつきましては、期初より大幅に減少した一部の主要取引先における取扱数量が、当第3四半期連結会計期間においても低調に推移した結果、その他の主要取引先における取扱数量で補うことができず、当第3四半期連結累計期間の取扱数量は、前年を大きく下回りました。

業務用コーヒーにつきましては、主要取引先のカフェチェーンなどにおける取扱数量が好調に推移しました。また、UCCグループ間での取扱数量の拡大に注力した結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、前年を大きく上回りました。

家庭用コーヒーにつきましては、当第3四半期連結会計期間におきましては、NB・PB製品販売を中心にほぼ前年通りの取扱数量となりましたが、第2四半期累計期間までの不調を補うことができず、当第3四半期連結累計期間の取扱数量は、前年を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は76億31百万円(前年同期比12.8%減)となりました。

利益面では、コーヒー生豆相場の高騰及び為替相場の円安による製造コストの増加に加え、「コーヒー関連事業」における主力の工業用コーヒーの取扱数量の大幅な減少に伴い、固定費の負荷割合が増加したため、生産工程の効率化と販売費及び一般管理費の抑制に努めましたが補いきれず、営業利益は4億92百万円(前年同期比23.7%減)となりました。

## ② 「パルプモールド事業」

「パルプモールド事業」につきましては、連結子会社の上海緑一企業有限公司を通しての事業であり、主要取引先の売上数量が好調に推移し、前年を大きく上回った結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、2億3百万円(前年同期比32.3%増)となりました。その営業利益は、38百万円(前年同期比311.6%増)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は78億35百万円(前年同期比12.0%減)、営業利益は5億31百万円(前年同期比18.9%減)、経常利益は5億41百万円(前年同期比24.1%減)、四半期純利益は5億43百万円(前年同期比1.6%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産の部

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比8億40百万円増加し、110億17百万円となりました。増減の内訳は、流動資産が8億25百万円増加いたしました。その主な要因は、現金及び現金同等物が5億57百万円、受取手形及び売掛金が2億55百万円増加したことによります。また、固定資産が15百万円増加いたしました。その主な要因が投資有価証券が1億12百万円減少しましたが、有形固定資産が1億31百万円増加したことによります。

② 負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比4億19百万円増加し、35億33百万円となりました。増減の内訳は、流動負債が4億31百万円増加いたしました。その主な要因は、未払法人税等が1億22百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が7億64百万円増加したことによります。また、固定負債が12百万円減少いたしました。

③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比4億21百万円増加し、74億84百万円となりました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は67.9%となり、前連結会計年度末比1.5ポイント減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想及び個別業績予想につきましては、平成26年10月24日公表の「平成27年3月期第2四半期業績予想および通期業績予想の修正に関するお知らせ」より変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,111,983	1,669,002
受取手形及び売掛金	2,105,485	2,360,592
商品及び製品	169,395	168,849
仕掛品	36,957	8,099
原材料及び貯蔵品	220,800	259,149
繰延税金資産	177,604	177,604
短期貸付金	—	1,000,000
その他	51,560	55,747
貸倒引当金	△299	△335
流動資産合計	4,873,487	5,698,712
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,101,452	4,141,899
減価償却累計額	△1,611,056	△1,701,371
減損損失累計額	△205,334	△210,068
建物及び構築物(純額)	2,285,061	2,230,459
機械装置及び運搬具	3,410,974	3,689,208
減価償却累計額	△2,765,871	△2,845,582
減損損失累計額	△197,019	△201,561
機械装置及び運搬具(純額)	448,084	642,063
土地	1,639,318	1,639,318
その他	256,362	252,498
減価償却累計額	△199,558	△204,007
減損損失累計額	△1,764	△1,805
その他(純額)	55,039	46,685
有形固定資産合計	4,427,503	4,558,527
無形固定資産		
ソフトウェア	19,817	16,071
その他	106,692	107,326
無形固定資産合計	126,509	123,397
投資その他の資産		
投資有価証券	371,922	259,677
破産更生債権等	3,981,819	3,981,639
その他	44,584	44,584
貸倒引当金	△3,648,686	△3,648,686
投資その他の資産合計	749,639	637,215
固定資産合計	5,303,653	5,319,141
資産合計	10,177,140	11,017,853

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,840,380	2,604,594
短期借入金	460,000	460,000
未払法人税等	172,992	50,875
賞与引当金	59,248	30,433
役員賞与引当金	3,800	—
その他	503,703	325,484
流動負債合計	3,040,125	3,471,387
固定負債		
繰延税金負債	57,258	45,599
その他	17,191	16,716
固定負債合計	74,450	62,316
負債合計	3,114,575	3,533,703
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,216,500	4,216,500
資本剰余金	1,020,799	1,020,799
利益剰余金	1,709,424	2,141,769
自己株式	△39,405	△39,849
株主資本合計	6,907,317	7,339,219
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103,400	82,345
為替換算調整勘定	51,846	62,584
その他の包括利益累計額合計	155,246	144,930
純資産合計	7,062,564	7,484,149
負債純資産合計	10,177,140	11,017,853

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	8,906,785	7,835,589
売上原価	7,114,994	6,169,465
売上総利益	1,791,790	1,666,124
販売費及び一般管理費	1,136,616	1,134,890
営業利益	655,174	531,233
営業外収益		
受取利息	52	1,727
受取配当金	1,556	1,279
受取家賃	5,937	6,179
投資事業組合運用益	54,907	—
受取保険金	3,840	—
その他	7,867	7,047
営業外収益合計	74,161	16,233
営業外費用		
支払利息	2,256	2,245
為替差損	13,771	3,901
その他	29	246
営業外費用合計	16,057	6,393
経常利益	713,279	541,072
特別利益		
投資有価証券売却益	—	72,604
固定資産売却益	74	—
特別利益合計	74	72,604
特別損失		
固定資産除却損	0	727
リース解約損	3,747	—
特別損失合計	3,747	727
税金等調整前四半期純利益	709,606	612,949
法人税、住民税及び事業税	157,903	69,865
法人税等合計	157,903	69,865
少数株主損益調整前四半期純利益	551,702	543,083
四半期純利益	551,702	543,083

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	551,702	543,083
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62,147	△21,054
為替換算調整勘定	46,933	10,737
その他の包括利益合計	109,081	△10,316
四半期包括利益	660,784	532,766
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	660,784	532,766
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。